

毎日、多忙な個人事業主や経営者。やらなきゃいけないとわかりつつも、記帳業務はつい後回しにしてしまうものではないでしょうか？

ところが、処理がたまればたまるほど、そのことがさらに記帳を遅らせて、利益の把握すら曖昧にさせていきます。経理担当者のいる企業であっても、記帳には専門的な知識が必要な場合もあるので、全面的に担当者に任せがちです。

また、最終的な決算書段階で不備がわかった場合、修正申告をしなければならないこともあるので手を抜くわけにはいきません。

本記事では、このような「大切だけど手間がかかり、本業に時間が使えなくなってしまう」記帳業務を代行するメリットと、気になる記帳代行の費用相場について説明します。

記帳代行のメリット

記帳代行のメリットは大きく2つのメリットがあります。まず、業務の簡易化における未処理の防止。更に、ストレスと時間からの解放によって本業に専念できるという点です。

1. 未処理などのミスの発生を防止できる

経理処理は面倒だと、つい後回しにしがちです。しかし、後回しにすればするほど、大量の領収書、請求書、伝票類の整理から始める必要があり、処理にまとまった時間を必要としてしまいます。

また、面倒と感じての作業ではついついミスが起こりがちなもの。未処理の発生などが後から発生すれば、更に労力をさかなければなりません。

記帳代行を利用すれば、領収書類を送るだけでこれらの手間を省くことができるので、業務が簡易化できるだけでなく、未処理などのミスも減らすことができます。

2. 事務処理からの解放によって本業に時間を有効活用できる

記帳代行を利用することで、面倒な記帳作業から解放され、経営者として本業に集中することが可能です。

また、記帳代行を利用することで、社外に支払うコストは発生しますが、処理する時間をコストとして計算すると実質的なコスト削減ができると言えるのではないのでしょうか。記帳業務量が多くて、経理担当者を置いたり、1人では処理できないので経理担当者を増やしたりする人件費より記帳代行費用は、はるかに低コストです。

経営者にとって、最も必要なものと言える「時間」を事務作業にあてる必要がなくなれば、その分時間を有効的に活用でき、業績にも大きく貢献できるのではないのでしょうか。

記帳処理を依頼する場合の記帳代行業者の料金の平均的な料金相場です。

月間仕訳数	月額料金相場(参考)	備考
50仕訳以下	6,000円	納期は20日間が一般的。納期を急ぐ場合は別料金発生する場合あり。初回料金が必要な場合あり。
100仕訳以下	10,000円	
200仕訳以下	17,000円	
300仕訳以下	21,000円	

□ 弊社料金プラン

レシート	ワンパック	ベーシック	カスタマイズ	税理士プラン
サービス内容				
レシート領収書のみの単純仕訳	基本的な経理書類の単純仕訳	封筒に入れて郵送するだけで毎月の経理が完了	お客様専任のバーチャル経理アシスタント	入力から弊社登録税理士の申告まで
こんな方にオススメ				
・レシートや領収書が大量に発生している	・とりあえず理書類をすべて入力してほしい	・社内に経理スタッフの採用に悩んでいる	・経理を自社の業務フローにあわせて依頼したい	・入力から申告まで全てお願いしたい
・経理を自動化したいが、どうしても紙のレシートが残ってしまう	・入力する時間が確保できない	・経理が分からないが、月で経理作業をきちんと締めたい	・経理スタッフの採用に悩んでいる	・申告料を安くおさえない
	・最終調整は自社でやる	・月次試算表まで欲しい	・社内の経理スタッフが入力作業に追われている	・今の税理士とあわない
月額料金(税込)				
9,980	29,800	49,800	要お見積り	要お見積り
サポート				
メール	メール	メール	メール	メール
		電話	電話	電話
			対面	対面

100仕訳程度で納期は到着後7営業日程度。

記帳代行を有効的に活用して、事務処理に関するミスやストレスから解放され、思う存分本業へ時間を使ってください。